

甲州民家情報館が（とりあえず）竣工しました。

上条 報告

第9号

平成22年2月

甲州市教育委員会
☎32-1411



完成した「甲州民家情報館」。玄関左手の壁は荒壁のままです。

NPO法人山梨県歴史的景観形成重要建築物保存会（山梨家並保存会）が進めていた「甲州民家情報館」整備工事が、とりあえず完了・竣工しました。「とりあえず」というのは、土壁や照明器具などに未完の部分があるためですが、これから先はワークショップや工学院大学の学生さんたちにも協力を得ながら、徐々に完成させていく計画です。

今後、山梨家並保存会と甲州市、甲州市教育委員会で管理運営方法などを話し合い、地の代表者のご意見もお聞きしながら、組の皆様にも活用していただける施設としたいと思いますので、よろしくお願いたします。



東側（右手）妻壁
荒壁のままの部分もありますが、ツートンカラーの意匠にもみえます。



突き上げ屋根
突き上げ屋根の掃き出し部分は、古い材が残されていました。



西側（左手）妻壁
窓の横に「見せ貫」が二段入っているため、甲州民家らしさを感じられます。



土間と上がりはな
建具は千本格子で、風情があります。壁は荒壁のままです。



土間のスペース
広い土間には、石囲いで仮の囲炉裏が設置してあります。



和室
和室は奥に二部屋あり、とりあえずコタツが置いてあります。



広間
土間と和室の間は、フローリングの広間で、左手には台所が続きます。



広間
縁側との境にはアルミサッシを入れ、断熱農家を高めています。



二階
階段を上ると通路状の二階ですが、中・奥は広い空間があります。

甲州の民家2

県内の保存民家につきましては、本誌第3号で紹介しましたが、その続きとして、特に峡東地域の切妻造民家を取り上げました。

山梨県指定 上野家住宅 平成6年11月7日指定

約5千坪の広大な敷地の中央に占地する住宅は、桁行十間、梁間四間半を測る。屋根の形状は入母屋であるが、民家調査によって当初は切妻であり、東妻側を切り詰め、西妻側を追加したことが判明している。

建築年代は古く、17世紀後期の民家と比較してもさらに古い要素をもっているため、当家の家格をあわせ考えると、17世紀前期に遡るものと思われる。

●山梨市東758 非公開 詳細は上野家に問い合わせのこと



山梨県指定 西川家住宅 昭和42年5月29日指定

西川家の祖先は、窪平村の名主を勤めた家柄と伝えられている。

住宅は桁行十一間、梁間五間の規模で、土間部分に後世の大きな改築がみられる。より古い前身建物があつたとみられ、現在の住宅はこの建物を活かして建築されたものらしい。

建築年代は、18世紀後期とみられる。

●山梨市牧丘町窪平772 非公開 詳細は西川家に問い合わせのこと



山梨県指定 旧坂本家住宅 平成15年3月27日指定

雁坂道から3キロほど入った徳和地区に建つ。茅葺・切妻造で、高野家のような突き上げ屋根をもたず、屋根平面にスリット状の開口部を設ける。

棟札により宝暦十一年(1761)に建てられたことが明らかで、時代的に旧広瀬家住宅(川崎市立日本民家園)と旧高野家住宅の中間に位置するため、「四つ建て」に近い構造と、「棟持柱」の構造を併せもつ。

建築様式が変化する過渡期に建てられた、峡東地域の民家の発達を知るうえで欠くことのできない住宅である。

●山梨市三富徳和420 Tel.0553-22-1111(山梨市教育委員会) 詳細は電話で確認を



笛吹市指定 旧石原家住宅 平成9年3月19日指定

現在、八代町郷土館内に移築されている。桁行七間、梁間三間半で、正面からみて左手の妻壁に取り付く二間四方の馬屋は、移築時の新設による。

構造的には旧高野家住宅にある棟持柱はなく、「四つ建」の構造が残り、屋根の軒先も低く葺きおろしており、17世紀末の民家の特徴がみられ、「元禄ころの建築」という伝承を裏付けている。

二階は養蚕のための作業場であるが、後世屋根中央の突き上げを追加した際、併せて改造し広くしたものと思われる。

●笛吹市八代町南796 Tel.055-265-2647(八代町郷土館) 月・水・金曜日休館 見学無料



神奈川県指定 旧広瀬家住宅

旧広瀬家は、市内上萩原に所在した広瀬保氏宅を、昭和44年に川崎市日本民家園に移築したものである。桁行八間、梁間四間半を測る。

甲州東郡の切妻造民家の中でも古様を呈し、17世紀末の建築とみられ、旧高野家のような一階から棟まで延びる棟持柱はなく、「四つ建」と呼ばれる構造がみられる。イドコは「ドザ」というドジ(土間)の延長のようなもので、土間に刳殻やむしろ等を敷いて生活の場としていた。また、二階からは積極的な利用は少なく、養蚕がまだ盛んでなかったことを示しており、養蚕のために切妻造が誕生したわけではないことが判る。

移築前は後世付加した突き上げ屋根があつたが、移築に際して建築当初の姿に戻された。

●神奈川県川崎市多摩区枅形7-1-1 Tel.044-922-2181(日本民家園) 月曜日休館 見学料500円

